

## 令和3年度 企業局の決算見込みの概要について

## 1 上水道事業

- ・収益的収入が827億円、収益的支出が713億円であり、純利益（消費税調整後）は前年度に比べ、4億円増の85億円となりました。
- ・資本的収入が168億円、資本的支出が473億円（うち建設事業費349億円）でした。
- ・将来的には給水人口が減少に転ずると予想され、給水収益の増加を望めない一方、老朽化した浄・給水場施設や水道管路の更新・整備に多額の建設事業費が必要となることから、「中期経営計画」等に沿って計画的に事業を実施し、健全な経営に努めてまいります。

## 2 工業用水道事業

- ・収益的収入が138億円、収益的支出が120億円であり、純利益（消費税調整後）は前年度と同程度の14億円となりました。
- ・資本的収入が38億円、資本的支出が79億円（うち建設事業費は44億円）でした。
- ・施設の老朽化対策や地震対策が急務となっていることから、「施設更新・耐震化長期計画」や「中期経営計画」に沿って計画的に事業を実施し、健全な経営に努めてまいります。

## 3 造成土地管理事業

- ・収益的収入が124億円、収益的支出が96億円であり、純利益（消費税調整後）は前年度に比べ、5億円減の28億円となりました。
- ・資本的収入が10億円、資本的支出が42億円（うち出資金30億円）でした。
- ・未処分土地は、前年度に比べ、2ヘクタール減少し、令和3年度末では172ヘクタールになりました。  
今後も、「経営計画」に沿って保有する土地の処分を迅速かつ着実に進めてまいります。

# 1 上水道事業会計

## (1) 決算見込み額

### ア 収益的収支決算見込み額

(税込み・単位:百万円、%)

区 分		R3年度 a	R2年度 b	増減 c=a-b	増減率 c/b
収入	給水収益	64,622	65,019	△ 397	△0.6
	給水申込納付金	4,099	4,191	△ 92	△2.2
	長期前受金戻入	7,585	7,605	△ 20	△0.3
	その他	6,400	5,688	712	12.5
	計 A	82,706	82,503	203	0.2
支出	人件費	5,965	6,062	△ 97	△1.6
	動力費	2,505	2,221	284	12.8
	修繕費	6,962	6,851	111	1.6
	薬品費	2,570	3,023	△ 453	△15.0
	委託料	9,291	9,225	66	0.7
	減価償却費	28,166	27,599	567	2.1
	支払利息	2,046	2,261	△ 215	△9.5
	その他	13,792	13,087	705	5.4
計 B	71,297	70,329	968	1.4	
収支差 C=A-B		11,409	12,174	△ 765	△6.3
純利益(消費税調整後)		8,519	8,076	443	5.5

#### (ア) 収益的収入：前年度に比べ2億円増の827億円

- ・給水収益は、新型コロナウイルス感染症の影響が継続していることに伴う使用水量の減などにより3億97百万円減少
- ・その他のうち、第二期上下水道料金徴収一元化に伴う関係市からの負担金が6億88百万円増加

#### (イ) 収益的支出：前年度に比べ10億円増の713億円

- ・動力費は、燃料費の高騰に伴う電気料金の増などにより2億84百万円増加
- ・薬品費は、入札に伴う活性炭単価の減などにより4億53百万円減少
- ・減価償却費は、償却資産の増などにより5億67百万円増加
- ・支払利息は、償還が金利の高い債権から低い債権に移行していることなどにより2億15百万円減少

(ウ) この結果、純利益（消費税調整後）は前年度に比べ4億円増の85億円となりました。

## イ 資本的収支決算見込み額

(税込み・単位:百万円、%)

区 分		R3年度 a	R2年度 b	増減 c=a-b	増減率 c/b
収 入	企業債	13,500	12,000	1,500	12.5
	その他	3,250	3,252	△ 2	△0.1
	計 A	16,750	15,252	1,498	9.8
支 出	建設事業費	34,945	48,071	△ 13,126	△27.3
	企業債償還金	12,048	11,427	621	5.4
	その他	301	357	△ 56	△15.7
	計 B	47,294	59,855	△ 12,561	△21.0
収支差 C=A-B		△ 30,544	△ 44,603	14,059	31.5

### (ア) 資本的収入：前年度に比べ 15 億円増の 168 億円

- 企業債は、建設事業の執行状況を踏まえ 15 億円増加

令和 3 年度最終予算 220 億円に対し、発行額は 135 億円。  
 充当対象となる建設事業費の繰越に伴い、令和 3 年度中の発行を一部見送ったことによるもの。残額については、繰越事業が完了する令和 4 年度中に発行予定。

### (イ) 資本的支出：前年度に比べ 126 億円減の 473 億円

- 建設事業費は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う部品供給遅延などにより、浄給水場や管路の更新・整備に係る工事費に多額の繰越が生じたことなどから、131 億 26 百万円減少  
 (繰越額 199 億円 (104 億円増)。大部分は令和 4 年度前半に完了見込。)
- 企業債償還金は、近年における発行額の増により 6 億 21 百万円増加

(ウ) この結果、資本的収支が 305 億円不足することから、損益勘定留保資金等で補てんします。

## (2) 資金残高

資金残高は、17 億円減少し、459 億円となりました。

## (3) 企業債残高

企業債残高は、15 億円増加し、1,386 億円となりました。

## 2 工業用水道事業会計

### (1) 決算見込み額

#### ア 収益的収支決算見込み額

(税込み・単位:百万円、%)

区 分		R3年度 a	R2年度 b	増減 c=a-b	増減率 c/b
収入	給水収益等	12,132	12,123	9	0.1
	長期前受金戻入	1,459	1,471	△ 12	△0.8
	その他営業外収益	245	227	18	7.9
	その他	8	9	△ 1	△11.1
	計 A	13,844	13,830	14	0.1
支出	人件費	868	898	△ 30	△3.3
	動力費	765	648	117	18.1
	減価償却費等	6,046	6,060	△ 14	△0.2
	委託料	1,747	1,705	42	2.5
	修繕費	645	701	△ 56	△8.0
	その他	1,941	1,819	122	6.7
	計 B	12,012	11,831	181	1.5
収支差 C=A-B	1,832	1,999	△ 167	△8.4	
純利益(消費税調整後)	1,458	1,431	27	1.9	

#### (ア) 収益的収入：前年度とほぼ同程度の 138 億円

- ・給水収益等は、超過料金増などにより 9 百万円増加
- ・その他営業外収益は、配水管撤去工事に係る負担金収入の増などにより前年度に比べて 18 百万円増加

#### (イ) 収益的支出：前年度に比べ、2 億円増の 120 億円

- ・動力費は、燃料費の高騰に伴う電気料金の増などにより 1 億 17 百万円増加
- ・委託料は、浄水関連費用の増などにより 42 百万円増加

(ウ) この結果、純利益（消費税調整後）は前年度とほぼ同額の 14 億円となりました。

## イ 資本的収支決算見込み額

(税込み・単位:百万円、%)

区 分		R3年度 a	R2年度 b	増減 c=a-b	増減率 c/b
収入	企業債	25	53	△ 28	△52.8
	出資金	3,000	3,000	0	0.0
	国庫補助金	333	259	74	28.6
	工事負担金等	402	162	240	148.1
	計 A	3,760	3,474	286	8.2
支出	建設事業費	4,438	3,504	934	26.7
	企業債償還金	2,233	2,334	△ 101	△4.3
	他会計借入金返還金	850	850	0	0.0
	その他	366	403	△ 37	△9.2
	計 B	7,887	7,091	796	11.2
収支差 C=A-B		△ 4,127	△ 3,617	△ 510	△14.1

### (ア) 資本的収入：前年度に比べ 3 億円増の 38 億円

- ・ 企業債は、八ッ場ダム事業費の減などにより 28 百万円減少
- ・ 国庫補助金は、施設更新・耐震化事業の本格化などにより 74 百万円増加
- ・ 工事負担金等は、対象工事等の増により 2 億 40 百万円増加

### (イ) 資本的支出：前年度に比べ 8 億円増の 79 億円

- ・ 建設事業費は、施設更新・耐震化事業の増などにより 9 億 34 百万円増加
- ・ 企業債償還金は、償還期間の終了などにより 1 億 1 百万円減少

(ウ) この結果、資本的収支が 41 億円不足することから、損益勘定留保資金等で補てんします。

## (2) 資金残高

資金残高は、18 億円増加し、344 億円となりました。

## (3) 企業債残高

企業債残高は、22 億円減少し、169 億円となりました。

### 3 造成土地管理事業会計

#### (1) 決算見込み額

##### ア 収益的収支決算見込み額

(税込み・単位:百万円、%)

区 分		R3年度 a	R2年度 b	増減 c=a-b	増減率 c/b
収 入	土地分譲収益	8,371	15,866	△ 7,495	△47.2
	土地貸付収益	2,433	2,637	△ 204	△7.7
	特別利益	65	15	50	333.3
	その他	1,537	1,747	△ 210	△12.0
	計 A	12,406	20,265	△ 7,859	△38.8
支 出	土地分譲原価	3,788	13,510	△ 9,722	△72.0
	人件費	1,037	1,032	5	0.5
	修繕費	216	117	99	84.6
	負担金	1,513	502	1,011	201.4
	資産減耗費	434	23	411	1787.0
	特別損失	3	137	△ 134	△97.8
	その他	2,640	1,594	1,046	65.6
計 B	9,631	16,915	△ 7,284	△43.1	
収支差 C=A-B		2,775	3,350	△ 575	△17.2
純利益(消費税調整後)		2,776	3,350	△ 574	△17.1

#### (ア) 収益的収入：前年度に比べ 79 億円減の 124 億円

- ・土地分譲収益は、大口の新規分譲が減少したことなどにより 74 億 95 百万円減少

#### (イ) 収益的支出：前年度に比べ 73 億円減の 96 億円

- ・土地分譲原価は、土地分譲の減により 97 億 22 百万円減少
- ・負担金は、港湾施設改修負担金の増などにより 10 億 11 百万円増加

(ウ) この結果、純利益（消費税調整後）は前年度に比べ 5 億円減の 28 億円となりました。

## イ 資本的収支決算見込み額

(税込み・単位:百万円、%)

区 分		R3年度 a	R2年度 b	増減 c=a-b	増減率 c/b
収 入	貸付金返還金	903	850	53	6.2
	固定資産売却収入	76	0	76	皆増
	その他	6	0	6	皆増
	計 A	985	850	135	15.9
支 出	建設改良費	1,193	1,278	△ 85	△6.7
	出資金	3,000	3,000	0	0.0
	その他	55	3	52	1733.3
	計 B	4,248	4,281	△ 33	△0.8
収支差 C=A-B		△ 3,263	△ 3,431	168	4.9

(ア) 資本的収入：前年度に比べ1億円増の10億円

・貸付返還金は、前年度に比べ53百万円増の9億3百万円

(イ) 資本的支出：前年度とほぼ同程度の42億円

・建設改良費は、公益的施設負担金の減等により85百万円減少

(ウ) この結果、資本的収支が33億円不足することから、損益勘定留保資金で補てんします。

(2) 資金残高

資金残高は、74億円増加し、943億円となりました。

(3) 未処分土地の状況

令和2年度末に174ヘクタールあった未処分土地は2ヘクタール減少し、令和3年度末では172ヘクタールとなりました。

[ 参 考 ]

1 上水道事業会計

(1) 貸借対照表(令和4年3月31日)

(単位:百万円)

資産		負債及び資本		
固定資産	751,995	負債	固定負債	132,541
流動資産	59,596		流動負債	36,515
			繰延収益	211,728
		資本金・剰余金		430,807
合計	811,591	合計		811,591

(2) 純利益の推移

(単位:百万円)

区 分	平成 29年度	30年度	令和 元年度	2年度	3年度
純利益	14,204	9,872	8,095	8,076	8,519
対前年度増減額	3,034	△ 4,332	△ 1,777	△ 19	443

(3) 資金残高の推移

(単位:百万円)

区 分	平成 29年度	30年度	令和 元年度	2年度	3年度
資金残高	51,609	50,706	48,997	47,615	45,928

(4) 企業債残高の推移

(単位:百万円)

区 分	平成 29年度	30年度	令和 元年度	2年度	3年度
借入額	8,000	8,000	10,000	12,000	13,500
企業債償還額	11,933	12,310	11,072	11,427	12,048
企業債残高	141,918	137,608	136,536	137,109	138,561

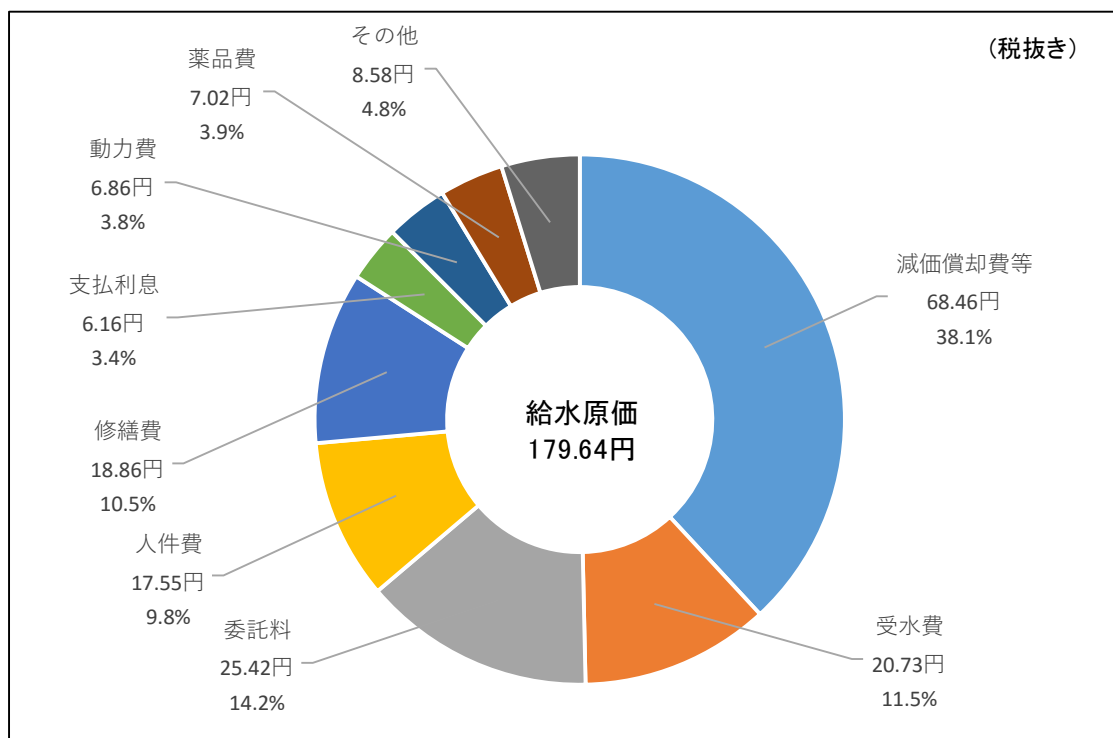


(5) 業務状況

項目	3年度 a	2年度 b	増減 c=a-b	増減率 c/b
給水戸数 (千戸)	1,539	1,525	14	0.9%
年間総給水量 (千m <sup>3</sup> )	318,757	322,267	△ 3,510	△ 1.1%
有収水量(収入の対象となる水量) (千m <sup>3</sup> )	309,463	312,275	△ 2,812	△ 0.9%
有収率(有収水量÷年間総給水量) (%)	97.1	96.9	0.2	0.2%
一日平均給水量 (千m <sup>3</sup> )	873	883	△ 10	△ 1.1%
一日最大給水量 (千m <sup>3</sup> )	960	999	△ 39	△ 3.9%
供給単価(1m <sup>3</sup> 当たりの売上単価) (円)	192.63	192.10	0.53	0.3%
給水原価(1m <sup>3</sup> 当たりの製造原価) (円)	179.64	179.57	0.07	0.0%
職員数 (人)	941	935	6	0.6%

(6) 給水原価の構成

給水原価は、水道水1m<sup>3</sup>をつくるために要した費用で、令和3年度は179.64円(税抜き)です。  
 なお、上水道事業は、事業運営に係る経費のほとんどを水道料金で賄う独立採算制です。



[ 参 考 ]

2 工業用水道事業会計

(1) 貸借対照表(令和4年3月31日)

(単位:百万円)

資産		負債及び資本		
固定資産	158,967	負債	固定負債	39,830
流動資産	36,215		流動負債	4,629
			繰延収益	37,023
		資本金・剰余金		113,700
合計	195,182	合計		195,182

(2) 純利益の推移

(単位:百万円)

区 分	平成 29年度	30年度	令和 元年度	2年度	3年度
純利益	1,416	1,424	1,224	1,431	1,457

(3) 資金残高の推移

(単位:百万円)

区 分	平成 29年度	30年度	令和 元年度	2年度	3年度
資金残高	22,912	26,306	29,181	32,644	34,420

(4) 企業債残高の推移

(単位:百万円)

区 分	平成 29年度	30年度	令和 元年度	2年度	3年度
企業債借入額	446	559	357	53	25
企業債償還額	3,035	2,652	2,379	2,329	2,229
企業債残高	25,453	23,360	21,338	19,062	16,858

[ 参 考 ]

3 造成土地管理事業会計

(1) 貸借対照表(令和4年3月31日)

(単位:百万円)

資産		負債及び資本		
固定資産	483,355	負債	固定負債	5,458
完成資産	52,351		流動負債	4,453
未成資産	0		繰延収益	0
流動資産	94,466	資本金・剰余金	620,261	
合計	630,172	合計	630,172	

(2) 純利益の推移

(単位:百万円)

区 分	平成 29年度	30年度	令和 元年度	2年度	3年度
純利益	△ 6,839	4,571	△ 978	3,350	2,776

(3) 資金残高の推移

(単位:百万円)

区 分	平成 29年度	30年度	令和 元年度	2年度	3年度
資金残高	99,441	74,782	77,333	86,893	94,295

(4) 未処分土地の推移

(単位:ha)

区 分	平成 29年度	30年度	令和 元年度	2年度	3年度
処分面積	104	38	2	8	2
年度末未処分土地	222	184	182	174	172